

第 7 回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会

開催日時	平成 29 年 9 月 1 日（金） 13：30～16：00	場 所	村松コミュニティセンター 2 階会議室
出席者	委員／◎小原委員，○井坂委員，久賀委員，川亦委員，坪委員，安尾委員，荒木田委員，原委員，川崎（敏）委員，宇野澤委員，藤田委員，鈴木（千）委員， 事務局／村長公室 企画経営課 佐藤課長，高橋課長補佐，秋山係長，照沼主事，富永主事 建設農政部 都市整備課 庄司課長，橋本課長補佐，横山係長，浅野主任 説明課／村民生活部 防災原子力安全課 稲田係長，善本主事 欠 席／鈴木（さ）委員，川崎（道）委員 <div style="text-align: right;">（◎：委員長，○：副委員長）</div>		

○当日の活動・協議内容

※13：30～14：00 まで幼保跡地エリア現地見学

1 開会（企画経営課佐藤課長）

2 小原委員長あいさつ

前回，村松周辺エリアについて，形をつくり，議論は幼保跡地エリアに進むこととなった。本日は幼保跡地エリアについての議論だが，以前から事務局へ現場に近い場所で会議を行いたいとお願いしていたところだ。ぜひ，本日の現地見学を参考にしていきたい。また，本日は（JAEAからの）報告事項もある。同時進行で（委員会）決めつつ，交渉しつづを繰り返さなければいけないので，スピード感があまりないと思われるかもしれないが，できる限り形にしていきたいと考えている。よろしく願います。

3 議事（進行：小原委員長）

議題（1）幼保跡地エリアにおける取組みについて

===資料 1，2 について説明（企画経営課 照沼主事）===

===消防器具置場移設について説明（防災原子力安全課 稲田係長，善本主事）===

- ・村として，消防器具置場を3ヵ年で計画的に整備する。本委員会において，第一分団の器具置場の設置場所についてご検討いただきたい。
- ・資料 3-2 の赤い箇所が現在の消防器具置場だが，こちらは老朽化が進み，また，狭隘化しているため，移設を考えている。
- ・第一分団の活動の性質や川根地区等では水害の恐れもあることから，基幹避難所の村松コミセンの近くである本エリアに消防器具置場を設置したい。
- ・資料 3-2 の緑の移設と記された箇所は一つの例示だ。消防団や行政がここにこだわっているわけではない。斜線の部分のいずれかに設置できれば，消防団が村松地区全体の災害対応に従事するにあたり，アクセスがよく，車で駆けつけて災害対応する際に円滑だと考えている。
- ・本委員会で検討いただいた結果については，消防第一分団長をはじめとした消防団長及び

消防団員のみなさまへお諮りし、改めてご報告したい。

<質疑> (■…質疑 ⇒…回答)

- (資料3-2の) 緑の箇所への移設は決まりなのか。(川崎敏委員)
- ➔ ひとつの案だ。決定ではないではない。(稲田係長)
- 前回、消防団としては「消防器具置場をクランクの辺りに移設してもいい」という意向があると伺った記憶がある。(川亦委員)
- ⇒消防団員と設置場所について検討を重ねてきた。クランクも検討先の一つだが、内部で協議したところ、クランクは解消され道路となる可能性があることから設置はできないこと、また、建物が建つと見通しが悪くなり、交通事故を誘発する懸念もある。こちらを考慮してみなさまにはご検討いただきたい。今のところ、(行政としては) クランク箇所に設置する予定はない。(稲田係長)
- 消防器具置場以外についてご質問はあるか。(小原委員長)
- ➔ 2点質問がある。①現地見学の際、こども園と子ども広場の間に1m幅程度の隙間があった。これには意図があるのか。②こども園を造った際、他の部分の活用案はあったのか。我々が検討する際に尊重すべきことがあればお聞きしたい。(坏委員)
- ➔ 元々、子ども広場のフェンスが先にあり、こども園については民地だったものを村が買収したものだ。推測だが、(子ども広場設置当時) 民地へ干渉しないように、1mほど内側に造ったものだろう。目的があって緩衝地帯があるわけではない。(佐藤課長)
- ➔ 了解した。②の質問についてはいかがか。(坏委員)
- ➔ 整備を行う際、フェンスをなくしてもいいのか。あそこは、ベビーカーは入れないが、子どもや先生が終業後、駐車場へ行く際にフェンス沿いを通る場合がある。(久賀委員)
- ➔ 資料3-1の4番をご覧くださいと、地域からの要望には、特に緩衝地帯を残すことは触れられていないので、制約はないと考えていただきたい。(佐藤課長)

※以下、2グループに分かれて議論

※防災原子力安全課退出

(議題) 幼保跡地エリアにおける取組みについて

Aグループ

(進行：橋本補佐)

《エリア間のつながりについて》

- 中心(村松周辺エリア)とここ(幼保跡地エリア)の整備について、私の中ではつながらない。地域やこども園のイベント時は駐車場は不足している。駐車場を広げることができるならそれに越したことはない。ただ、平時の村松周辺エリアとはつながらない。ここ(幼保跡地エリア)から行けるのは天神山方面だろう。もしくは、阿漕ヶ浦への道だ。(久賀委員)

- (宿区での) 幼保跡地利用検討が先にあり、絵を描いた。その後本委員会が立ち上がった。当初、他エリアは関係なく、単独の用地利用計画を地域に落とされた。単独での跡地利用案は出るが、その後に村松周辺エリアとのつながりを検討することは難しい。(久賀委員)

《消防器具置場の移設について》

- (本エリアに) 何か造るならば、消防器具置場は端の方がいいのでは。(鈴木千委員)
- ➔ 現状の利用を考慮すると、墓地向かいは駐車場が適しているのだろう。(安尾委員)
- ➔ 子ども広場を駐車場として整備することも可能だろう。こども園教諭用の駐車場もあるので、調整が必要だろうが、エリアの角を消防器具置場とすれば、幹線道路へも出やすくなるのでは。(久賀委員)
- 防災原子力安全課に確認したところ、場所の特定ができなくとも、現在の利用状況を踏まえ、北側のエリアが適しているのか、南側のエリアが適しているのかといったご意見をいただければ、それを元に防災原子力安全課が消防団と話し、その結果を本委員会へ報告すると聞いている。今のお話だと、宿幼稚園及び村松保育所の跡地は、別の活用を考えるため、消防器具置場はない方がいい。子どもの広場や墓地の向かい側が適しているということだろう。(秋山係長)
- ➔ (墓地の向かい側にあっては) 渋滞して消防車が出れないのではないかと。(荒木田委員)
- そもそもだが、本日はどこまでを決めるのか。(井坂副委員長)
- ➔ 消防器具置場については、全体の活性化を考えるにあたって、どの辺りが望ましいか程度まで決めることができればいい。(秋山係長)
- ➔ 渋滞はあるが、幹線道路へ早く出られる方がいい。(久賀委員)
- ➔ まとめると、消防器具置場については、多目的駐車場と併せて整備し、詳細については消防団と確認しながら進めるということによろしいか。(橋本補佐)
- ➔ 異議なし。(一同)

《宿幼稚園及び村松保育所跡地の活用について》

- シンボルとなっている樹木は残し、グランドゴルフの場所もある。そう考えると(活用策は) 限られる。(荒木田委員)
- ➔ 樹木はすぐに育たないので、今あるものは生かした方がいい。広場は、グランドゴルフに限らず、子どもたちが使えるようなものがあればいいのではないかと。グランドゴルフは週1回程度ではないだろうか。(久賀委員)
- 村松周辺エリアでは日常的に、大型バスの需要はあるのか。(安尾委員)
- ➔ ない。(荒木田委員)
- 宿区要望は、幼保跡地エリアのみの活用策だ。本委員会で阿漕ヶ浦周辺も含め活性化を検討するならば、大きな駐車場がないと動けない。隣接して道の駅でもあれば、商工観光面でも活性化になる。(別のエリアに) そういったところを確保できれば、わざわざ幼保跡地エリアに物産館を造る必要はない。このイメージ図(資料3-3)にこだわる必要はない。ただ、三が日は駐車場が不足する。また、村からは、福祉施設等は造るつもりはないと聞いていた。ならば、お金をかけず、周辺には公園がないので、お花見や散歩ができ

るの憩いの場があればいいのではないか。また、区画整理地の大きな公園のような遊具があれば、親と一緒に子どもも集まりやすい。(久賀委員)

- 真砂山の墓地を移転してはどうか。できるできないは別として、思い切った発想も必要だ。(荒木田委員)

《新川の活用について》

- 新川で川遊びと言うが、現実的に難しい。水深が深い。地域でクリーン作戦を行った際、自転車など色んなものが出てきた。子どもが水に入れるような整備を行うことは、相当大きなプロジェクトとなるだろう。(久賀委員)
- ➔ 川に入るか入らないかはともかく、整備は必要だろう。どこを到達点にするかによる。(安尾委員)
- ➔ 降りるところを造ったら子どもが利用し、事故に繋がるだろう。(鈴木千委員)
- ➔ それを踏まえ、川へ入れるようにするかどうかだ。村でも数少ない川へ入れる場所とするかはポイントとなる。(安尾委員)
- ➔ 川沿いに桜を植える話もあった。また、細い道がある。例えば、川べりに桜を見ながら歩ける道を造ることはできるかと思う。(久賀委員)

《多目的広場について》

- 多目的グラウンドについて、図面の面積が分からないが、資料3-2のような、3つのゾーニングができる可能性もある。(安尾委員)
- ➔ グランドゴルフに特化する必要はない。多目的な空間があればいいだろう。グランドゴルフの利用者は平日午後などだ。学校へ通っている子ども達とは重ならないだろう。(久賀委員)
- ➔ 資料3-3を見ると立派に見えるが、舟石川近隣公園のようなイメージで、芝生広場と駐車場があれば十分集えるのではないか。公園を造るに当たって規制はないのか。(鈴木千委員)
- ➔ 公園にしていいのではないか。市街化区域のルールとは異なるだろう。新しい公園には樹木があまりないが、ここは樹木を残して整備できればなお良い。(久賀委員)
- 元の樹木を活かし、遊具を入れた公園を造り、多目的広場があればいい。また、公園利用者のための駐車場が必要だ。(久賀委員)
- ➔ 滞在することを考えると、お茶を飲めるスペースがあってもいい。また、玄関口になるので、案内所をという意見もあった。こういった、人が来る理由と滞在する理由がないと広がりがない。街中に公園がある分にはいいが、この地区に他所から人が来るほどの遊具が置けるだろうか。河川を歩くという案もあったが、誰も使わなければ汚れるだけだ。経営が成り立つかはあるが、飲食店を誘致するのも一案だろう。(安尾委員)
- ➔ 何十年も前から村松には人が滞在しないとされていた。(荒木田委員)
- ➔ それは、以前から言われている道の駅構想で解消されるのでは。(久賀委員)
- ➔ もし、真砂寮の辺りに(道の駅が)できたら、このエリアは全くだ。幼保エリアから村松周辺エリアへ歩いて向かうかどうかは一つの意見として正しい。(安尾委員)
- ➔ 幼保跡地エリアから村松周辺エリアには3が日以外は行かない。そこまでして外からこ

ここに集客させる必要があるだろうか。(久賀委員)

そうであれば、対外よりも、対内向き地域だ。地区の人口問題やグランドゴルフ、日々の生活からの発展系など、ある程度絞れる。ある程度ターゲットを絞った方が考えやすい。(安尾委員)

➔ 土地の広さも中途半端だ。(荒木田委員)

➔ 憩いの場にするのか、目的を持って来てもらうのかにもよる。(井坂副委員長)

➔ 草刈などの管理の問題もある。何かしらの整備をしないと、あっという間に草地になってしまう。(久賀委員)

■ 若い人は何がいいと思うか。(荒木田委員)

➔ 人口増をイメージしたフレーズが委員会の中で出ているので、そこにつながるがいい。駐車場が一部分でいいならば、何かしらの建物はほしい。例えば、1階は店舗で2階以上は住居のような。(安尾委員)

➔ たしかに、この地域には飲食や買物できる場所がないという意見があった。人口減少により昔の商店が成り立たなくなったため、規模はともかく、お店があるのは良いという意見はあった。(久賀委員)

➔ ただ、今は大型化が進んでいるので経営が成り立たないらしい。(井坂副委員長)

■ 例えば、とことん絞って、グランドゴルフの専用にして、様々なところから来てもらうような、主題を持って取り組んだ方が特定の人はず来る。バレーボール専門の体育館を造り、世界大会を開催しているところもあると聞く。(安尾委員)

➔ 住宅が近いので照明の問題はあるが、昼はグランドゴルフ、夜はフットサルでもいいだろう。(井坂副委員長)

➔ こども園もある。ゾーン分けをして、年配の方の場とアクティブな場にしてみよう。来れるのは、地域の子どもだろうか。(安尾委員)

➔ この辺は箕輪の人ぐらいで、長年住んでいないと家を建てられない。だから、土地を買えず、住めなくて人口が減る。(鈴木千委員)

➔ 空き家はあるが、駅からは遠いので買う人はいない。人口増は望めない。(久賀委員)

➔ あまり立派なものを造っても、使う人がいないと管理が大変だ。地域から来るか、外から来るかだが、地域の人そんなに望めないだろう。(鈴木千委員)

■ 子どもの広場は全く使っていない。(井坂副委員長)

➔ 一体的に、こども園でもコミセンでも使える多目的駐車場にしてはどうか。内外によって考え方が変わる。私には孫がいるが、ちょっと散歩するときは、箕輪の公園に行く。阿漕ヶ浦公園まで行かなくても、ここで楽しめればというのが地域の要望だった。ただ、地域の意見は、どうしても内の意見となる。幼保施設(利用者)は地域を限定しない。村松宿こども園も地域外から車で来る人が多い。お母さん方も、遊具で子どもを遊ばせて、話をしている。人が多く来て活用するイメージは持てない。(久賀委員)

➔ 思い切って日本一の消防団小屋を造ってはどうか。全国の視察先や訓練場にしてみよう。大会があれば旅館も潤うだろう。(荒木田委員)

➔ 人が先か。モノが先か。人が来ないので、モノ・コトが必要なのだろう。(安尾委員)

《まとめ》

- ➔ みなさんのご意見伺うと、幼保跡地エリアの図面と似通っている。そこを最終的にどうするか判断がつかないようだ。そちらについては、ご意見を踏まえて、事務局でまとめてもよろしいか。要は、「この地区をどうしたいか」と「つながりをどうするか」ということだ。駐車場については、3が日の駐車場にはなっている。地区のみなさんの要望としては、公園や多目的広場等、地区住民が憩える場があるといい。更にプラスとなると、案内所を造って人を配置してはということだが、その他いかがか。(橋本補佐)
- ➔ やはり、日本一の消防団小屋だ。(荒木田委員)
- ➔ 温泉は掘ればある。(久賀委員)
- ➔ 温泉は良い。あれば、みんな行くだらう。(鈴木千委員)
- ➔ この場所の位置付けがはっきりしない。他のエリアの補完なのか、村の入口なのか、宿区の要望もある。その辺が決まっていけない。ただ、道の駅的なものは別のところに設置される可能性が高いだろうから(幼保跡地エリアには)不要だ。(井坂副委員長)
- ➔ このエリアについては、駐車場と公園、プラス管理のための案内所があってもいいというところでいかがか。駐車場は3が日のときにも使えるという意見もあった。(橋本補佐)
- ➔ 先行してここ(幼保跡地エリア)が進む(整備される)ことはないのか。(井坂副委員長)
- ➔ 地区からの要望もある。ここをどうしたいかを固めないといけない。また、やりやすいところから取組むところもある。(橋本補佐)
- ➔ そもそも、他の関連を考えるならば、中枢の取組みが決まらなければ、他は決められないのではないか。(井坂副委員長)
- ➔ 今回は、(前回委員会のまとめとして)ここ(幼保跡地エリア)を議論するという事となっている。本エリアについては、駐車場と公園、それに伴う案内所が必要だということでもよろしいか。それを踏まえて全体の流れや細浦青畝も含めてどう導線を描くのかということがある。(橋本補佐)
- ➔ 周辺ばかり議論しても、本丸が進まないと無駄な時間になるのではないか。結局、同じ議論をすることとなるのではないか。(井坂副委員長)
- ➔ 多目的駐車場と消防器具置場を造るということで、こちら側(南側)はいいのではないか。ここ(北側)は駐車場というほどの話ではなく、建物を建てられるわけではなく、公園になるかもしれないが。(安尾委員)
- ➔ 2つの案を考えているということでは。公園か駐車場かは周囲の関係や住民もあるので含みを持たせる。いきなり全て駐車場というわけもいかない。(橋本補佐)
- ➔ ある程度の駐車場や多目的スペースが確保できれば、地域要望は満たすだらう。ただ、上のエリア(村松周辺エリア)とのつながりを考えるには距離があり難しい。(久賀委員)
- ➔ 独立型にせよ、この(エリアの)目的をはっきりさせなくてはいけない。地域の要素に加え、他の要素を入れるかどうかだ。(井坂副委員長)

Bグループ

※進行：高橋補佐

≪幼保跡地エリアにおける消防器具置場及び駐車場について≫

- 旧宿幼稚園駐車場は結構、満車になっているところを見かける。ここには消防器具置場を建てられないだろう。また、コミセンでのイベント時は駐車場が不足するので、コミセン用の駐車場の確保も必要だろう。(川亦委員)
- 元からコミセン用駐車場の用地だが、こども園駐車場としても活用している。村有地なので柔軟に使っていただきたい。(高橋補佐)
- 子ども広場の一角に消防器具置場を移設できないのだろうか。(川亦委員)
- 現状、真ん中が広場で両サイドが駐車場だ。どちらかに(駐車場を)寄せた方が使い勝手がいいのでは。(藤田委員)
- フェンスは取り払ったほうがいい。なぜ、フェンスがあるのか。(坏委員)
- 昔はバスケットコートがあったからだろう。広場を利用するためには、コミセンでの手続きが必要で使いづらい。(川亦委員)
- 角のところは村有地か。人の流れを考えたとき、ひたちなか市方面から来る人に対する案内表示をするに当たって、ここは重要なポイントだ。村内からのアプローチと外から来る人へのアプローチを区別する必要があるのでは。大型バスで来る場合もあるだろう。(坏委員)
- 国体時、現状、大型バスは停められるのか。(川亦委員)
- 今のところ、ピストン輸送を考えている。(高橋補佐)
- このエリアの駐車場等については、国体へ向けて議論をしているのか。(川崎敏委員)
- 国体へ向けてというわけではないが、一つの区切りと考えられる。また、地域の人の利用もあるので、本エリアは早めに整備した方がいいだろう。(高橋補佐)
- 2年以上空き地の状態で、(宿区自治会から)ご要望をいただいてから時間が経過している。(庄司課長)
- ピストン輸送を行うにしても、大型バスの待機場所が必要だとすれば、樹木は残しつつ、暫定的に空き地を活用してもいいのではないだろうか。国体時・年末年始・平時の観光バスに使えるだろう。(川亦委員)
- (大神宮・虚空蔵堂へアクセスするための駐車場は)近場に必要とのことだったが。(坏委員)
- 幼保跡地エリアは大神宮・虚空蔵堂へアクセスすることが第一義ではなく、地域が利用するための広場や三が日の混雑時のための駐車場といった意味合いではないだろうか。(高橋補佐)
- 駐車場として利用することを考えると、平時の利用、正月、国体等の大きなイベント時の利用割合がこのスペースを決めるのだろう。(坏委員)
- 最近、1日かけて数箇所を参拝することが流行している。その場合、スムーズに駐車できるかが重要だ。意外と、長距離を歩くことは苦になっていないようだ。そう考えると、幼保跡地エリアに駐車場があってもいいのかもしれない。最近では細浦に駐車する人も多い。(川亦委員)
- イベント時の駐車台数と近隣で駐車できる最大数を確認し、どの程度駐車場を増やせばいいか把握する必要があるのではないだろうか。都市整備課では調査を行っていないのか。(坏委員)
- 国体の後になるが、阿漕ヶ浦公園周辺に駐車場を造る予定だ。(庄司課長)

- ➔ 幼保跡地エリアについては、阿漕ヶ浦公園周辺に駐車場ができるまでの臨時駐車場としてはどうか。(川亦委員)
- ➔ 近いところ(阿漕ヶ浦公園周辺)は乗用車で、距離があるところ(幼保跡地)は大型バスが止められるようにしてはどうか。(藤田委員)
- ➔ 福島県の花見山に行った際、絶対に混雑すると思ったのだが、河川敷に駐車し無料バスで向かったため、全く混まなかった。これを見習いたい。(川亦委員)
- 国体までに国道245号は拡幅されるのか。(藤田委員)
- ➔ 村松地区における用地買収は90数%済んでいると聞いたが、国体までには拡幅されないだろう。(川崎敏委員)
- ➔ 短期的に幼保跡地に駐車場があり、長期的に考えると阿漕ヶ浦周辺に駐車場を造ると割り切ってしまうのも(一案だろう)。(藤田委員)

《村松周辺エリアにおける駐車場について》

- (さわやかトイレ付近墓地の脇の)かなり広い斜面があるが、ここは活用させてもらえないだろうか。(原委員)
- ➔ (正月には)墓地の前まで出店が並ぶ。斜面地を駐車場とした場合、交通安全上危ないだろう。(坏委員)
- ➔ もし、ここに駐車場があれば、晴嵐山へ直接アクセスできる。(原委員)
- ➔ (斜面地については)緩衝地的な所であり、特に使っているわけではない。(藤田委員)
- ➔ 大神宮・虚空蔵堂入口付近広範囲に駐車場を造り、J-PARCへアクセスしたり、裏門含め、回遊したりできるようにしてはどうか。阿漕ヶ浦公園へのアクセスについてはずい道を作る。(川崎敏委員)
- ➔ 寺社へのアクセスを考えるならば、メインの参道についても考慮する必要がある。(原委員)
- ➔ ただ、参道には店が多くない。食堂等あれば、参拝した後立ち寄れる。現状、参道の魅力が不足するのではないだろうか。村内にはお洒落なものづくりをしている人が多数いる。他から人を呼んで売ってもらうのはいかがだろうか。(川亦委員)

《新川の活用について》

- 駈上り線から上は村が管理してキレイになっている。一部分が未開発の川になっており、震災時も水害があった。県の管轄だが、この開発も並行して検討するべきだ。(川崎敏委員)
- 魚はいるのか。(藤田委員)
- ➔ いるが、釣りは禁止だ。(川亦委員)
- 川遊びについては、水質が心配だ。真崎浦は汚いのではないか。(川亦委員)
- ➔ 昔よりキレイになった。シジミもいる。ゴミ拾いのときに、子どもたちとざるでシジミを掬った。1,2時間遊ぶのにそこまで神経質にならなくてもいいのではないか。BBQをしながら川遊びができる場所を造り、外から東海村へ来てもらう集客力が必要ではないか。(川崎敏委員)
- ➔ 人口の河口を造って、浅瀬を広げてもいいのではないか。(坏委員)

良いと思う。ただ、鮭が上ってこれるかが心配だ。(川崎敏委員)

- カヌーで河口まで行けるような、レジャー的な要素がほしい。サイクル機構から海までは1 kmほどあり、海側から河口までも広い。(川崎敏委員)
- 新川河口から松林の辺りに橋を造ってほしい。車を停め、サイクル機構脇を通過して、橋を渡りながら海が見え、大神宮・虚空蔵堂へ続くようなルートを作るといい。(川崎敏委員)
- 海浜公園の客を呼び込むことを考えると、GW(ネモフィラの時期)に見ごろの花などはないだろうか。ハード整備もいいが、ソフト寄りの取り組みはいかがか。(小原委員長)
- ➔ 黄緑の八重桜で、少し桃色がかったものは希少なもので、植栽できれば花つながりの集客が望めるだろう。(川亦委員)
- 新川のサイクル機構沿いの道は行き止まりだが、それをつなげられないか。(坏委員)
- ➔ 水の導線を作るのはいかがか。(藤田委員)
- ➔ 賛成だ。ゼロから考える委員会なのでこういった発想もありだろう。(川亦委員、坏委員)
- ➔ 北線から大神宮・虚空蔵堂まで続く道があれば、入口ができる。現状、道はあるが、狭いので土地の買収や拡張は必要となるだろう。(川崎敏委員)
- ➔ そこは、車を通さないで1 km程度、砂利のまま歩いてもいいのではないか。(川亦委員)
- ➔ 現在、車の利用者もいるのではないか。幼稚園生なども見かける。(藤田委員)
- ➔ 毎日3台ほどは見かける。川遊び、海遊びや釣りをする人がいる。サイクル機構と東京電力の間に道はなかつただろうか。(川亦委員)
- ➔ 元々使っていた道がある。すでに緑地にしてしまったが。(藤田委員)
- ➔ 元の話では、ここは公園にするという話だったが、今は使えない。(川崎敏委員)
- ➔ 昔は使えた。サイクル機構と東京電力の間に広い土地があったと思う。そこが遊び場等、拠点としても活用できるのではないか。(川亦委員)

《その他・まとめ》

- 保育所跡地で行っているグランドゴルフは多目的広場で行えるようにし、グランドゴルフに限らない活用をすればいいのではないか。(川崎敏委員)
- ➔ まとめると、(幼保跡地エリアの下部は)一体的な駐車場にする。(上部については)樹木は残しつつ、建物は建てずに暫定的には多目的に使えるように整備をするということによるか。(高橋補佐)
- ➔ 要望としては川遊びができるようにしていただきたいが。(川崎敏委員)
- ➔ 常陸那珂港区からの導線を創り、人を呼び込むことも必要だろう。(坏委員)
- 消防器具置場は、墓地の前辺りが適当だろう。駈上り線にも出やすい。また、(子どもの広場の)フェンスは取り除いた方がいい。(川崎敏委員)

グループワークのまとめ(委員長への報告)

《Aグループ(報告者:橋本補佐)》

Aグループでは、駐車場や公園として活用するのがいいという意見が出た。ただ、村松周辺エリアへの導線を考えるには距離があり、三が日の駐車場にはなるが、それ以外のつなが

りを考えるのは難しいというご意見をいただいた。また、地下に核シェルターを造ることや地元のイベント会場として活用するというアイデアもあった。消防器具置場については、幹線道路への出やすさを考慮して、資料3-3の多目的駐車場の辺りが適しているだろうということでもとまった。

《Bグループ（報告者：高橋補佐）》

Bグループでは、基本的には、資料3-3のような使い方で問題ないだろうととまった。（エリアの南側の）縦長の用地は、一体的な駐車場として利用し、Aグループ同様、墓地の向かいの端に消防器具置場を設置するのが適当だろうという意見が出た。旧宿幼稚園及び村松保育所跡地については、建物は不要で、多目的な使用ができるよう簡易的に整備する。更に、駈上り線と国道245号が交差する角に、ひたちなか市方面から人を呼び込むための看板等があってもいいだろう、また、新川整備について、幼保跡地エリアから海へ抜ける水の導線を創り、カヌーで遊べるような整備を行えばレジャースポットとしての活用もできるといったご意見を頂戴した。

4 報告事項

JAEA所有地について

＝藤田委員よりJ-PARCアクセス道路、真砂寮地、阿漕ヶ浦クラブ跡地について報告＝

- ・アクセス道路については利用者の利便性の向上などを踏まえて従来から検討してきているが、財政事情などの面から現時点では整備を進められる状況にはなく、具体的な構想も現状お示しできる状況にない。今後、進捗等があればご提示したい。
- ・真砂寮は、一部の建物が築60年、他は築30数年ほど経過している。最近、耐震調査を行ったところ、寮生が入居している建物は耐震性に問題がないという結果が出た。ただ、永年使い続けることは難しいので、東海地区全体の宿舍の将来計画について検討を始めているところ。多くの居住者の移転先なども検討することになることから検討には相当の時間を要すると考えており、現時点では同用地の利活用の判断はできない。
- ・ただ、いつになるとの約束はできないが、将来的に活用できる可能性がないわけではないと考えている。
- ・阿漕ヶ浦クラブ跡地は現在、更地になっている。テニスコートも使っていない。
- ・一部境界の調整が必要で、村との協議を進めている。村での公園整備に伴い、活用する可能性はあると考えている。
- ・原子力機構の土地を利活用等するには制約が多く、簡単にご協力するとは言い難い。いざ、手放すこととなっても、手続きには時間がかかることをご承知おきいただきたい。

《質疑》

- テニスコートの話があったが、サッカー場の方も同じ状況か。（久賀委員）
- ➔ サッカー場や体育館は使用しているが、体育館も老朽化が進んでいる。そういった意味では、将来的な活用の可能性はゼロではない。（藤田委員）
- ➔ 先が見えない状況だ。前回委員会で阿漕ヶ浦公園から村松海岸までの軸を決めたところだが、何十年かかるか分からないことを委員会で議論しても不毛だろう。そのため、軸を

考え直すか、あるいは、軸をそのままにできることを検討し直す必要が出てくる。(小原委員長)

- 今回、幼保跡地についてはほぼ固まったので、村の方に関係部局と交渉を進めていただきたい。次回について、予定だと細浦青畝の議論へ移り、さらにその後、村松周辺も含めた全体を考えるとということだった。しかし、今回の報告を受けて、村松周辺エリアについて、“短期的に何ができるかを議論する”という選択肢もあるだろう。みなさんのご意見はいかがか。いずれにせよ、パーツを議論し、全体に戻ることを繰り返す。(小原委員長)
- ➔ 短期の成果を求めるより、将来的に東海村がどうなるのかが大切だ。軸はそのままに、周辺で今何ができるかを考えていく方がいいかと思う。(川亦委員)
- ➔ JAEAの土地の問題はあるが、この構想を立てるに当たって、拠点となるものが必要だ。この地域の集客を考えた際、大きな駐車場や道の駅や温泉施設等の話が出てきた。そこを拠点として細浦青畝等へ動くのではないか。それが定まらないうちに、部分部分議論したところで、地域全体の活性化になりうるのか。点在しているものを個々に整備してもつながらない。(久賀委員)
- 前回、縦軸が国道 245 号だとすると、横軸をつくり、歴史的資産をさらに中心に持ってきて、且つ自然的資産を生かせるようなご提案をした。近づきやすさを生みながら、活性化を図る狙いだ。今のご意見を踏まえると、軸の再設定も必要かもしれない。(小原委員長)
- ➔ 時間がかかるので、今回は(軸を変える)ではなく、JAEA所有地でも着手のしやすさは(場所によって)異なるだろう。本委員会を超えたところで、長期的なスパンで着手することが必要だ。(原委員)
- ➔ そういった選択肢がなくはない。(藤田委員)
- ➔ 本委員会は委員会で成果が必要だが、並行して何かやっていたらいい。(原委員)
- 新川沿いに国有地もあるようだが、村松晴嵐の辺りと交換してもらえないか。(荒木田委員)
- ➔ 長期的に見れば、様々な可能性が出てくる。本委員会については、国体を一つの契機に整備したものがベースとなって発展していくと考えると、その先に、J-PAARCの方の交渉が進めば、進捗の可能性はある。(小原委員長)
- ➔ 新川沿いの国有地と機場跡地の村有地が隣接している。さわやかトイレ駐車場の代替地について、国との交渉ができる可能性があるならば、宮前橋から大神宮・虚空蔵堂へ入る導線を造ることができる可能性もあるだろう。ぜひ検討していただきたい。(川崎敏委員)
- ➔ そちらも含め一度お預かりし、スケジュールが変更になるかと思うが、次回どう進めるかみなさんへお示ししたい。(小原委員長)

その他(事務局より)

- ・次回委員会：11月上旬頃(東海村文化祭終了後) 予定、日程調整表を10月上旬頃送付する。

5 閉会(企画経営課 佐藤課長)

(以上)